



なでしこ



令和4年(2022年)5月13日

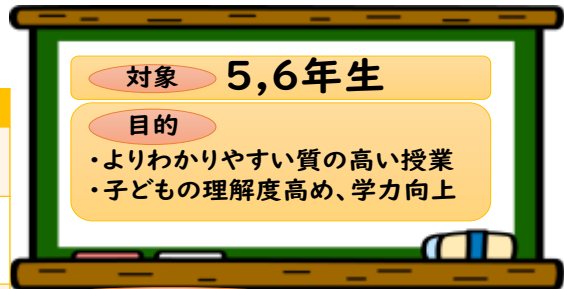
No. 5

「教科担任制」で子どもたちに確かな学力を

草津小「教科担任制 2022」

【例 6年生の時間割イメージ】

| 教科 | 授業の担当 |
|-------|---|
| 1 国語 | 学級担任 |
| 2 外国語 | 英語専科指導・ 学級担任・ ALT(学期に数回) |
| 3 算数 | 算数専科指導 学級担任・ 総合教育センター研究員 (週1回程度) |
| 4 社会 | 学級担任 |
| 5 音楽 | 音楽専科指導 ※理科専科指導の場合 もあり |
| 6 図工 | 学級担任 |



期待される効果

【学力の向上】

専門的な知識や技能を持った教員が教科を担当することで、指導の充実を図ることができます。

【子ども理解】

子どもの指導に、学級担任だけでなく、教科担任も関わることで、子どもの変容を多面的にとらえることができます。子どもの理解が深まり、学級経営にも役立てることができます。

【中学校との連携】

中学校における教科担任制に対する抵抗感が少なく、学習面での小中学校間の段差解消に役立ちます。

※単元に応じて専門性が高い教員が教えることも予定しています。(プログラミング教育等)です。

校長 中村 真理子

新緑が輝く中、運動場や校庭の花が美しく映える季節となりました。連休も明け、子どもたちはより活発に学校生活を送っています。

さて、公立小学校の授業の一部を、中学校のように担任以外の教員が受け持つ「教科担任制」が、今年度から全国で本格導入されました。本校においても、一部の教科に専科教員の配置が認められ、今年度、より充実した「教科担任制」を実施しています。

国や県の方針により、今年度は5,6年生が対象となっており、一部の教科となりますが、専門性を持った教員が教えることで、よりわかりやすく、質の高い授業にしていくことを目的としています。本校では、上図のように取り組み、子どもの理解度を高め、学力向上につなげていきます。また、本校の取組における「教科担任制」の特色は、次の3点です。



(1)算数科における滋賀県総合教育センターとの連携

滋賀県総合教育センターと連携し、総合教育センター研究員が週1回来校し、本校の算数専科教員と連携しながら、ティームティーチングで授業を行います。子どもたちの理解を確かめながら、授業の方法等について話し合っ、授業を進めていきます。(6年生を中心に実施)

(2)学級担任との連携

子どもたちの育ちを一番良く知っている、学級担任と専科指導教員が連携して「教科担任制」を実施しています。教室に学級担任がいることで、子どもたちの安心感を高めています。さらに複数の教員が教室にいることで、一人ひとりの子どもたちにきめ細かい指導を行うことができます。

(3)教科の特性や単元に応じた教科担任制の実施

例えば、プログラミング教育や水泳など、各教科の単元によって、本校の専門性の高い教員が授業を行うことも考えています。また、学年の教員の中で交換授業等を実施する場合があります。

★3,4年生については、5,6年生ほど学級担任以外の教員が授業をすることは少なくなっていますが、高学年への成長の準備段階として、一部の教科で「教科担任制」を取り入れています。



【草津小ホームページを毎日更新し、子どもたちの活動の様子を掲載しています。ぜひご覧ください。】

学級担任と子どもたちの「教育相談」スタート!



ゴールデンウィーク後に、各学年・学級ごと、それぞれの発達の段階に応じて、子どもたちの学校生活や心の面についての「アンケート」を実施しました。担任と1対1で話す「教育相談」の際に、「アンケート」の内容も参考にしながら、子どもたちの気持ちを聴き、最近の様子等について話を進めていきます。



学校や学級に慣れてきたこの時期に、子どもたちの悩みや願いに寄り添い、子どもと担任との信頼関係を強めていきたいと考えています。5月16日(月)頃から、担任と子どもたちが1対1で話をする「教育相談」を実施します。子どもたちと話をする中で、友達関係を把握したり、問題に気付いたりすることがあるかもしれません。子どもたちと担任がゆっくり話す時間を持つことで、日常抱えている悩みや思いにふれ、もしも課題がある場合は、保護者の方とも相談しながら、早期の対応にあたります。

また、左図のように、3階までしこルームのとなりの教室に「こころの保健室」もオープンします。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、休み時間の入室については、人数制限をしますが、校内で学校生活を送る子どもたちが、「ほっ。」と一息つけるスペースも開設します。子どもたちの心に寄り添いながら、誰もが安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一丸となって子どもたちを支えていきます。

学校の対応について、ご協力をお願いします。

(1) 放課後等に来校される場合は、必ず「職員室」にお声かけください。

忘れ物等で、放課後來校される場合は、正面玄関から入っていただき、必ず最初に「職員室」にお声かけください。防犯上、だまって校舎内に入られることのないようにご協力をお願いいたします。

(2) 教職員の働き方改革にご協力ください。

本校教職員の勤務時間は、平日の8:20~16:50です。また、草津市立小学校では、平日夕方18:30以降は留守番電話の対応をさせていただいています。

コロナ感染にかかわって、夜間や休日に緊急対応が必要な場合については、すでにお知らせしております。「コロナ連絡用緊急メール」を利用してご連絡いただきますようお願いいたします。



『子どもの心に 寄り添って』



「ごめんなさい」と言えない

新しい学級にも慣れ、子どもたちは新しい人間関係をつくろうとしています。友だちとトラブルになり、自分の方に良くない原因がある場合、「ごめんなさい。」と自分から謝った方がよいケースがあります。しかし、意地でも絶対に「ごめんなさい。」と言いたくないという子どもがいます。でも、この時の子どもの顔は、「しまった!」「まずいことをした!」という表情をしています。「ごめんなさい。」とは思っているのです。でも、言葉としては出ません。普段から「ありがとう。」という言葉をかけてもらっていない場合、思っても言葉として「ごめんなさい。」は出にくくなるようです。自分に自信がない、「どうせぼくは、どうせわたしなんか。」と思っている状態でも、「ごめんなさい。」は言いづらいようです。子どもたちに私たち大人が、「ありがとう。」も「ごめんなさい。」も言いやすい状態を作ってやるのが大事だなと思っています。

関わりのポイント

- ・普段から大人がきちんと「ありがとう。」「ごめんなさい。」を使うようにしたいものです。
- ・「ごめんなさい。」より「ありがとう。」の方が言いやすいです。「ありがとう。」を言うほうが受け入れやすいです。まずは、「ありがとう。」が言えるようになれるといいですね。
- ・子どもたちには、わかりやすく「ありがとう。」と「ごめんなさい。」を言えれば、きっとこれからも基本的な人間関係はうまくいくよ。」と伝えたいと思っています。(これは、大人でも同じですね。)



【草津小ホームページを毎日更新し、子どもたちの活動の様子を掲載しています。ぜひご覧ください。】